

第9回

KIT Science Cafe

ドローンが照らす北極のみらい

北見工業大学 大学院工学研究科 工学専攻
社会環境工学プログラム 修士2年

加藤 隼天 さん

オーロラ、白夜、ホッキョクグマ... 日本から遠く離れた北極について、皆さんはどのようなイメージを持っていますか？

近年、北極では海氷減少や北極海航路の利用拡大、資源開発など、急激な環境変化が進んでいます。その変化は、地球規模の気候や経済にも大きな影響を与えています。2026年秋には、日本初の砕氷機能を備えた北極域研究船「みらいII」が竣工予定です。しかし、氷に覆われた海を安全に航行するための知見やデータは、まだ十分とは言えません。そこで当研究室では、電磁誘導式氷厚計やカメラ、ドローンなどを活用し、安全な氷海航行を支える統合システムの研究開発を進めています。本講演では、その中でもドローンとLiDAR (UAV-LiDAR) を用いた海氷観測に焦点を当て、海氷と点群についてご紹介します。少しだけ極北の世界に思いを馳せながら、楽しんでいただければ幸いです。

2026.5.21 (木)

17:00 - 19:00 (講演は17:30 - 18:00)

桑原グループ KITFRONT 1F ホール

(北見市柏陽町592-6)

事前の参加登録は必要ありません。

講演前後は講師や参加者にご懇談ください。



主催：北見工業大学 AIコモンズ

協力：桑原グループ, Starbucks 北見KITFRONT店

問い合わせ先：ttakekoshi@mail.kitami-it.ac.jp

世話人：北見工業大学 竹腰、村瀬、升井